

Super SHIP

SUPER SHIP (SMOOTH&HIGH POWER SYSTEM スムース&ハイパワーシステム)とは...
従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。

【スーパーシップコンセプト】

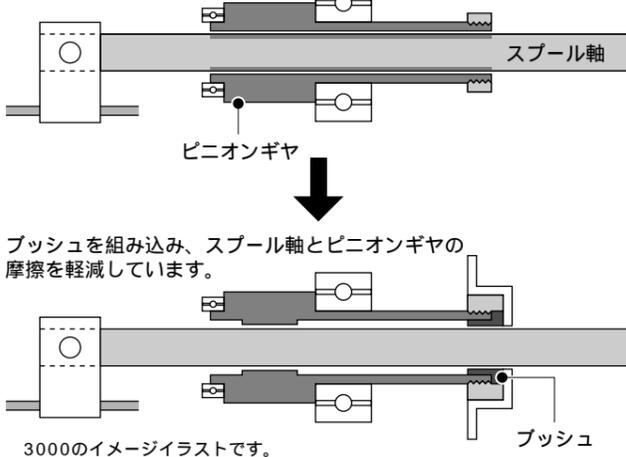
スーパーシップ

歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

ハイブリッドアルミボディ
ステラで提唱したテクニウムボディを継承するハイブリッドアルミボディ。スーパーシップの一番重要な大型マスターギヤを支持する部分と、リールの足部を超高精密アルミニウムで一体化しました。その材質が伝える魚信(高感度)、歪みを徹底排除した高剛性が伝えるパワー(高効率)は、従来のリールでは体感できないものです。

フローティングシャフト
ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とピニオンギヤの関係にスプール軸を支えるブッシュを組み込むことにより、摩擦を大きく軽減しています。

従来、ピニオンギヤの内側全体でスプール軸がこすっていました。



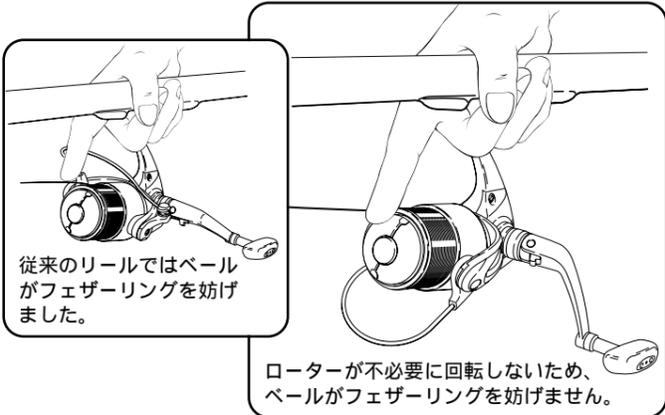
3次元曲面ローターシステム

糸巻き形状の調整
糸巻き形状の調整が可能のため、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止できます。(「操作方法」参照)

3次元曲面ローター
フラット化されたラインローラーとベールの接点、アームカム形状、そしてベール取り付けカムを内側から取付けることにより糸ガラムを防いでいます。

パワーローラーIII
細糸でもヨレない新型のローラーを採用、さらにトラブルの減少を図っています。(下段「パワーローラーIII」の項を参照)

POSITIVE&FRICTION BAIL
ポジティブ&フリクションベール
ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。キャストの時リターンしにくく、適度なフリクションがかかるため、ローターが回転してベールがじゃまになりフェザリング(サミング)の妨げになるのを防止します。



その他の機能

- スーパーSTOPPER-II (ローラーベアリング1個内蔵)
- ハイブリッドアルミスプール
- バイオフィットグリップ
- ボールベアリング3個内蔵
- ゴールドアルマイトアルミスプールリング

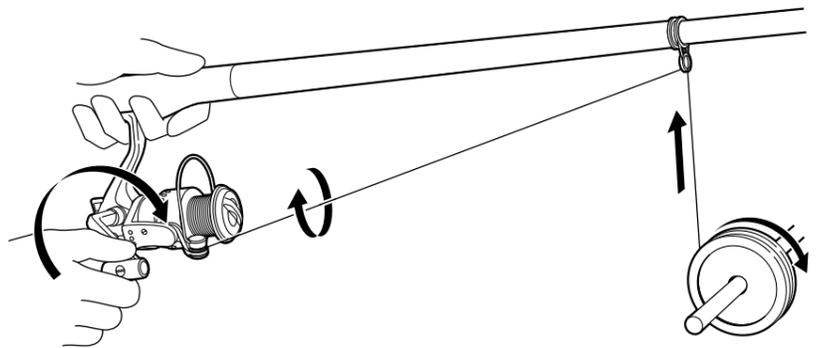


パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。



図のようにリールを竿に取り付けます。
第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
ドラッグの締まっていることを確認して下さい。
糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

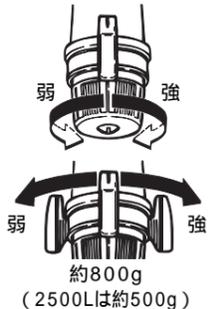
1 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨれている時。
ドラッグが作動した時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻く時、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

2 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

操作方法

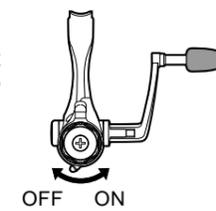
レバードラッグの操作

プログラマツマミを時計まわりに回すとドラッグ力は増加し、逆に回すとドラッグ力は減少します。お好みのドラッグ力で設定してください。



STOPPERツマミの操作

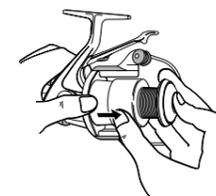
リール後ろから見てツマミが右に倒れている時(ON) 逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取りやドラッグで魚とやりとりする時に使用します。同様に、ツマミが左に倒れている時(OFF) 逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



スプールの脱着方法

取りはずし方
人差し指でプッシュボタンを押しながら、スプールの引き出しして下さい。

取り付け方
スプールのゆっくり回しながら、カチッと音がするまで押し込みます。確実に装着できたか、一度引っ張ってははずれないか確認してください。



下巻きゲージの使用方法

- 下図のように付属のゲージをスプールに垂直に差込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。
- スプールとゲージの間にできたすき間(図の斜線部)が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。



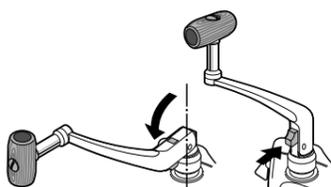
ラインホルダー

とめ方
人差し指でラインホルダーを押さえるようにし、爪の上に糸をすべらしてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。



ワンタッチハンドルの折りたたみ方法

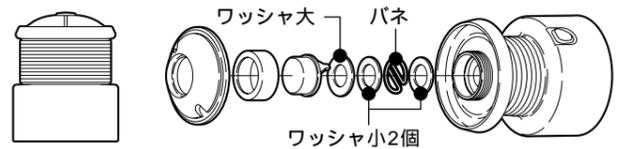
ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒してください。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆になります。



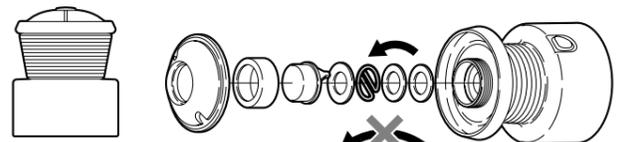
糸巻き形状を変えたい場合

スプールの分解し内蔵のバネ位置を変え、糸巻き形状を好みに応じて調整することが可能です。

- まず、右図のように付属の工具を使用してプッシュカラーをゆるめ、スプールの分解します。
- メーカー出荷時の糸巻き形状の場合... バネの位置がワッシャ小2個の間になっています。



前よりの糸巻き形状にしたい場合...
バネの位置をワッシャ小とワッシャ大の間にセットします。



バネをワッシャ大よりも上にはセットしないでください。

- スプールの組み直します。その時必ず、プッシュボタンの先端突起部2つをバネの図の位置にセットし、プッシュボタンを押して弾力があるか確認してからプッシュカラーを組み付けてください。

